

きょうの面

特集

流山市優良建設工事  
優秀工事技術者表彰

8

公共

県教委23年度建築一  
式不調は10件、43.5%

2

民間

市原市内工事一覧/J  
NCが油化工場を新築

3

業界

市原市建設連合協組ら  
建設DXを労働安全に

2

公告

県庁建

県企業局  
支出の徹底見直し必要  
次期水道中期計画を策定

県企業局は、2026年度から30年度までを期間とする次期水道事業中期経営計画について、26年3月までの策定を予定している。19日の6月定例会代表質問で、関政幸議員(自由民主党千葉県議会議員)による質問の答弁に立

次期計画の経営戦略に「加味した料金収入、将来の人口減少などを更新費用、物価上昇などを

更新・耐震化を進め、一層の安全性向上に努めるよう求めた。

75億円を見込んでいたが、動力費、薬品費、委託料などの増加により、23年度決算における純利益は58億円となる見通し。

現行計画は、21年3月の策定。計画期間は、21年度から25年度まで。

現行計画の財政収支見通しにおける、次期計画期間の資本的支出は、建設改良費2586億円を含む3302億円。

次期計画については、外部有識者の意見を聞きながら、直営で取りまとめる。策定に向けては、年内に骨子案、25年に計画案を作成し、25年度下半期にパブリックコメントを行う予定だ。

村山氏が講師を務めた。香澄小学校で開催する。



寺田理事長



花澤・技術委員長

県コンクリート製品協同組合  
16工場に組合認定証  
審査結果は「過去最高」

千葉県コンクリート製品協同組合(寺田裕之理事長)は、2024年度組合認定工場検査の結果、16工場が認定を受けた。審査の結果として、受注販売事業の一環として

技術的 な力量高さを求められる時代に求められる時代に

技術懇談会の冒頭で寺田理事長(認定工場推進委員長)は、今後の業界を取り巻く社会的要因に対して「我々はこのようにアプロ

高戸義尚(花沢建材工業)▽加瀬真二(同)▽岡野健一(千葉窯業)▽高尾直哉(三浦コンクリート工業)▽菅 大翔(同)▽浅野吉朗(千葉コンクリート)▽小松幹敏(三洋コンクリート工業)▽野

地健太郎(同)▽多田純也(北村コンクリート工業)▽平野哲也(平野コンクリート工業)▽寺田玲寛(セラコン)▽北山浩平(シティ・クリエイティブ・コンクリート)▽伊藤進(林建材)▽澁谷祐二(時田コンクリート工業)▽小泉春雄(小泉建材興業)▽草間光男(共

たりの死亡事故は5.2倍、75歳未満の2倍に上り、▼事故原因は、ハンドルのミスや、ブレーキとクセルの踏み間違ひなど目立ち、身体能力や認知能力の低下などが原因と推測され、事例が多くみられると、▼高齢者の事故が多いから運転をやめたほうがいい」と家族などに促され、しつこく免許証を返納する話は何回も耳にする。うはいっても、なかなか転をやめられない事情の高齢者も多い。車がかたくなり、買い物や病院への通りにくいなど、一部の高齢者には、公的な対応が求められる。▼「パイプの種類を知りたい」など、活発に質問が寄せられた。